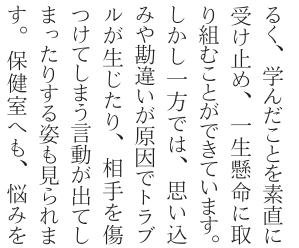


静岡インターに程近く、安倍川河口付近に位置する本校は、昭和63年に開校した静岡市で最も新しい中学校です。モダンな校舎の4階にあるプールからは、安倍川の河口や遠くらの海まで見渡せる絶景が広がっており、晴れた日には富士山を望むこともできます。また、学校の周りにはピンク色のツツジが咲き誇り、木々も多く、自然豊かな環境があります。このような恵まれた環境の中、全校生徒190名の子どもたちは、日々、学びを深めています。

本校の学校教育目標は、「自らの力で切りひらく生徒」です。この目標のもと、生徒一人ひとりが主体的に考え、行動し、未来を切りひらいていく力を育てることを大切に行っています。学校は、生徒にとって知識を得る場所であると同時に、心を育て、人となつがる力を養う場でもあります。そのような中で、



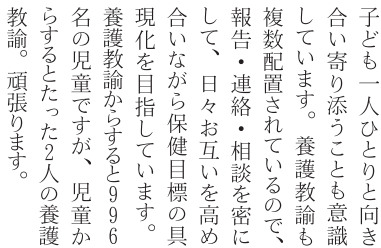
抱えて来室する児童、けんかや不注意によるけがをして来室する児童、個別支援や他機関の連携が必要な児童など、様々な理由で多くの児童が来室します。

健康でも、自分の健康について主体的に考え、健康づくりに取り組む子」を指して保健活動に取り組んでいます。

私は、教育者に求められる役割を五つの「者」に例えられた「教師の五

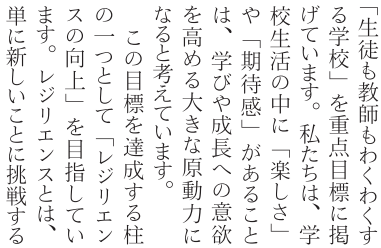
い、子どもたち自身が心身の様子を正しく把握して、よりよい生活に結び付けられるような声掛けや指導を心掛けています。

さらに、「保護者」の「者」も加え、保護者目線も大切にしながら、目の前の



子ども一人ひとりと向き合い寄り添うことも意識しています。養護教諭も複数配置されているので、報告・連絡・相談を密にして、日々お互いを高め合いながら保健目標の具現化を目指しています。

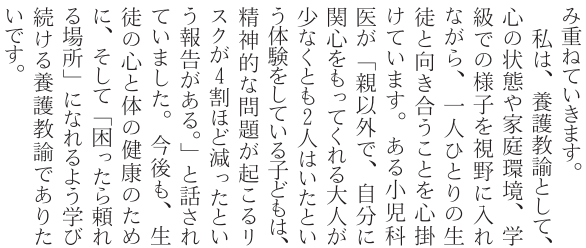
養護教諭からすると99.6名の児童ですが、児童からするとたった2人の養護教諭。頑張ります。



力ではなく、日常の困難やストレスに対して心を立て直す「心の回復力」であり、誰にとっても必要であり、ほとんどの生徒が小学校から同じ人間関係であるため、友人への理解や絆も強く、温かさのある学校ですが、一方で、新しい環境への適応や人間関係づくりにつまずきやすくなっているように感じます。本校でも不登校生徒の増加等、心の健康問

題が課題となっています。
 そこで、令和5年度から
 「心の健康」をテーマに、
 小中合同学校保健委員会
 を行っています。1年目
 は「しなやかな心を育てよ
 う」レジリエンスとは「
 について学び、2年目は
 「しなやかな心を育てよう
 う」心が不安定な時、どう
 向き合い、どう行動する
 か」をテーマとし、自
 分の気持ちと向き合い、

本的な生活習慣の見直し
 と定着」が大切であると
 思います。そのため、保
 健専門委員が主体的に考
 え、生徒自身が日常生活
 の中で実践できるような取
 組を計画しています。自
 分の健康に目を向け、正
 しい生活習慣を身に付け
 ることが生徒のレジリエ
 ンスを育む土台となります。
 今年度は、歯磨きの取組
 を保健専門委員が企画し



み重ねていきます。

私は、養護教諭として、心の状態や家庭環境、学級での様子を視野に入れながら、一人ひとりの生徒と向き合うことを心掛けています。ある小児科医が「親以外で、自分に関心をもってくれる大人が少なくとも2人はいたという体験をしている子どもは、精神的な問題が起こるリスクが4割ほど減ったという報告がある。」と話されていました。今後、生徒の心と体の健康のために、そして「困ったら頼れる場所」になれるよう学び続ける養護教諭でありたいです。

(富士市島田町2-115)

弊社は、明治13年創業、昭和25年設立の総合建設会社です。

「企業活動を通して、広く社会に貢献し奉仕する」という企業理念のもと、静岡県東部を以て中心に道路・下水道を始めとする社会インフラやオフィス・工場・店舗などの建設に注力してまいりました。

「じつは！
井出組。」の
キャッチフレー
ズを掲げ、そ
うした何気な
い身近な街の
風景をつくる
仕事に社員一
丸となり取り
組んでいます。
また、近年で
は、再生可能
エネルギーのつ



積極的な導入に取り組む



海岸清掃

に関する研修を行い、従業員の意識や理解を高めています。

加えて、会社を介さずに、健康やメンタルに関する相談ができる外部の窓口を設けています。

そのほか、一定時間以上の時間外・休日労働を行った社員に対し、疲労蓄積度のセルフチェックを実施し、

行っています。

さらに、毎年11月には協力会と共催で田子の浦海岸の清掃を100名以上の規模で実施し、プラスチックごみの流出防止に取り組んでいます。

こうした活動を通して、地域社会との接点を大切になっています。

【安全衛生活動】

年1回、健康診断と

年1回、健康診断と

【環境の取り組み】

労災事故防止・安全職
場の確保に取り組んで

せんが、地域の中に当たり前に存在するものとして、日常生活の中に溶け込んでいます。

加えて、業務の効率化、生産性向上、働き方改革を推し進めるべく、IT・DX技術の

ストレスチェックを行っています。

健康診断では、35歳以上を対象に胃カメラ

2011年にエコア
クション21の認証を取
得し、環境経営管理シ
ステムのPDCAを日

います。
また、隔月で協力会
と共催で安全講習会を
開催し、外部講師を招



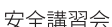
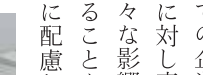
の早期発見に努めるとともに、前立腺や腹部超音波の検査、35歳未満の血液検査や婦人科健診等で法定検査を上回る検査項目を追加し、健診内容を充実させることによって、社員への健康維持管理に取り組んでいます。

また、有所見者には受診勧奨を行い、再検査受診率100%達成を目指しています。

メンタルヘルス対策では、毎年、外部講師によるメンタルヘルス

建設業としての企業活動が、環境に対し直接、間接に様々な影響を及ぼしていることを認識し、環境に配慮した活動を進め、環境経営の継続的改善に取り組んでいます。

また、富士市が主催する「ふじクリーンプार्टナー」に賛同し、毎月会社周辺の清掃活動



安全講習会